

増加に対応する倉庫や宿舍の確保、「ま
ちぶらプロジェクト」によるまちなか
の魅力磨きや賑わいの再生、水産練り
製品の商品開発、長崎留学生支援セン
ター開設への支援等に取り組み、「長
崎市経営戦略推進プロジェクト」に
おいて目指す「世界に、日本に誇る国
際都市長崎」の実現に向けて、さらなる
地域経済の振興に取り組んでいく。

※長崎サミットとは、地域経済活性化の観点
から長崎地域の発展を目指し、経済4団体、
長崎大学、県及び市の産学官で構成される長
崎市経営戦略推進会議のトップ会議。半年
に1回程度開催される。

長崎―伊王島―高島航路の今 後の見通し

問 伊王島大橋の架橋後、航路利用
者が大幅に減少した中、路線バスの運
行が開始され、また、長崎汽船とやす
らぎ伊王島とが契約している船舶賃貸
し契約も解除されると聞いているが、
今後の伊王島、高島航路の見通しにつ
いて伺いたい。

答 長崎と伊王島・高島を結ぶ航路
は、伊王島大橋の架橋に伴い利用者が
大きく減少している。今後の航路のあ
り方について、伊王島・高島地区の住
民の代表者、国、県及び航路事業者な
どで構成する「長崎県離島航路対策協

議会長崎域分科会」を平成23年12月
に設置し、航路維持のための経費削減
策等の取りまとめを行っている。運航
便の見直しや、船舶賃貸し契約解除な
ど、航路を取り巻く環境は非常に厳し
いが、高島地区の住民にとって本土へ
の唯一の交通機関であり、伊王島・高
島の地域振興や観光振興の観点からも
重要な生活航路であると認識している
ので、今後とも住民、航路事業者及び
行政の連携により、維持、確保を図っ
ていきたい。

明政・自由クラブ

長崎半島地域の道路交通網

問 長崎半島の大動脈である国道499
号をはじめ、半島内の幹線道路網を形
成する主要地方
道野母崎宿線、
一般県道深堀三
和線の整備状況
及び長崎外環状
線の整備計画に
おける市の具体
的な取り組みに
ついて伺いたい。



▲拡幅工事を行っている国道499号

答 国道499号は、道路管理者の県が
江戸町から野母町までの区間の改良事

業を行っている。昨年度は蚊焼工区の
拡幅整備が完了し、引き続き残りの区
間の拡幅事業を進めている。次に、野
母崎宿線は、拡幅整備を進めているが、
用地調査等に時間を要している区間が
ある。また、県道深堀三和線は、地形
の問題で事業化に至っていない区間が
ある。次に、長崎外環状線は、昨年新
戸町インターチェンジまで暫定2車線
で供用を開始し、県がこれに続く区間
の整備手法に関する検討を行っている
。今後も、道路整備に係る協議会や
地元と道路の予算確保について国へ要
望するとともに、各路線の早期整備に
ついて積極的に県へ働きかけたい。

住宅リフォーム制度の拡充と 耐震化事業等

問 住宅リフォーム制度は既存住宅
の質の向上の促進を図るとともに経済
活性化を目的として実施したものであ
るが、この制度の継続及び内容拡充の
考えはないか。また、継続により耐震
化工事等も進むものと思われるが、見
解を伺いたい。

答 本制度の事業効果を検証するた
めに実施したアンケート調査により、
本制度はリフォーム誘発効果があり、
施工業者の売り上げに一定の効果があ
ったものと認識しているが、制度の継

続・拡充については、市民や業界の意
見を受け止めつつ、経済状況の動きや
補助の効果、財政状況等を見極めなが
ら前向きに検討していきたい。住宅政
策の課題として、住宅の耐震化等の促
進や住宅のバリアフリー化の促進、既
存ストックの活用等が挙げられるが、
現在の補助は、
経済活性化と既
存ストックの活
用には一定つな
がっているもの
の、他の課題に
対する効果にも
つなげていく必
要があると考え
ている。



いじめ防止条例の制定の考え方

問 文部科学省が実施した今回の緊急
調査における、本市のいじめの認知
件数等の現状について伺いたい。また、
子どもたちが安心して学校生活を送る
ことができる環境をつくるために、い
じめ防止に関する条例を制定する考え
はないか、見解を伺いたい。

答 全国の小中学校においては、4
月から9月までに、13万883件のいじめ
が報告されている。本市の市立小中学
校の認知件数は564件であり、生命や身